

# ルブリリス<sup>®</sup> 100

## LUBRILITH<sup>®</sup> 100

### 即時脱型製品用混和剤

ルブリリス 100は、超硬練りコンクリートの可塑性(プラスティシティー)を増大し、不完全充填による不良品の発生や製造・運搬時における型くずれを減少させます。また、即時脱型方式で製造されるコンクリート製品の肌面を滑らかな仕上りに改善するなど、即時脱型製品の品質および生産性を大きく向上させます。

このルブリリス 100には、空気連行性を付与したタイプのルブリリス 100Pがありますので、特に凍結融解の繰り返し作用に対する抵抗性が要求される場合にご使用ください。

#### 特長

1. 単位水量を増やすことなく可塑性や充填性が増大しますので、質量の大きい密実な製品が製造できます。
2. コンクリート肌面の仕上がりが良好で、均一な色合いの製品が連続して得られます。
3. 製造工程中における型くずれ、不完全充填などによる不良品の発生を減少します。
4. 早期に強度を発現し、ひび割れあるいは有害なきずの発生を大幅に減少させます。
5. ルブリリス 100Pを用いた場合は、適度な空気泡の連行により、即時脱型製品の凍結融解の繰り返し作用に対する抵抗性が向上します。
6. 使用量を増加させることにより、不良率の低減ならびに肌面の改善をさらに図ることができます。

#### 主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20℃)	pH (20℃)
ポリサッカライドおよび P.A.P*エーテル系界面活性剤	淡緑色液体	1.04~1.08	4~7

\* (P.A.P.: ポリオキシエチレン アルキル フェノール)

#### 用途

コンクリート積みブロック・張りブロック・連結ブロックなどの護岸・土止め用ブロック、歩道用コンクリート平板・舗装用コンクリートブロックなどの道路用製品等、超硬練りコンクリートを即時脱型方式によって製造するコンクリート製品。

(なお、凍結融解の繰り返し作用に対する抵抗性の改善あるいは特に可塑性の増大を必要とする場合には、ルブリリス 100Pをご使用ください。)

#### 使用量と使用方法

1. ルブリリス 100の標準使用量は、セメント 100kg当たり原液で 250mlです。(質量で計量する場合には、セメント 100kg当たり 270gになります。)
2. ルブリリス 100は原液のまま、コンクリートの練混ぜ水に混合してご使用ください。また、ミキサに直接投入する場合には、原液を予め5倍程度に希釈してからご使用ください。なお、ルブリリス 100は単位水量の一部となりますので、単位水量を補正してご使用ください。

## 性能

### ●空隙率

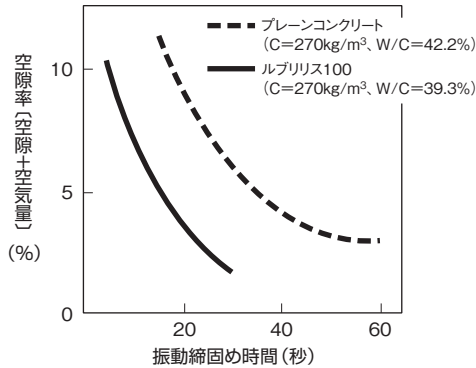


図-1 振動締め時間と空隙率の関係

超硬練りコンクリート用供試体成型機 (振動数4500rpm、振幅0.28mm) を用い、φ10×20cmの供試体で試験を行った。

### ●圧縮強度

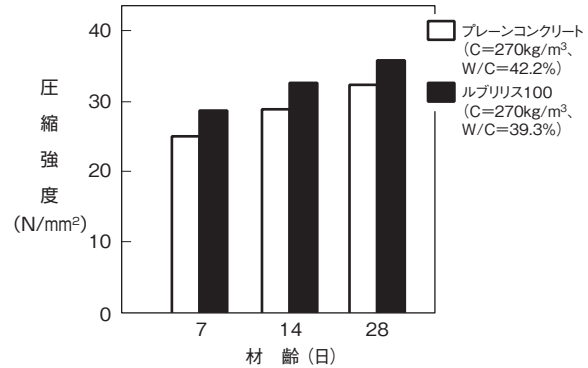


図-2 材齢と圧縮強度の関係

### ●凍結融解に対する抵抗性

	プレーンコンクリート	ルブリリス100P
	120サイクルで破断	相対動弾性係数96% (300サイクル)
空隙率	4.7%	3.9%
空気量*	1.2%	3.2%
気泡間隔係数*	510μm	318μm

\* 空気量および気泡間隔係数は、ASTM C 457「顕微鏡による硬化コンクリートの気泡システムのパラメータと空気量の測定方法」によって求めた。

## 使用および取扱上の注意事項

1. 本剤は分離しやすいので、よくかき混ぜてからご使用ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように (凍結温度: 0°C) 保管してください。
3. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取扱いに当たっては、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませた後、速やかに専門医の診察を受けてください。
7. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
8. 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

## 荷姿

20ℓポリ内装箱 / 200ℓドラム缶

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 011-23-89-1245 FAX 011-23-89-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(松本全次事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものではありませんが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●方が、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

